



Rotary International District 2650 Nara Japan
奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



第3回 パソコン教室 (2010/3/18)

1499回例会

<会長報告>

本日会長報告ということでは特にございません。

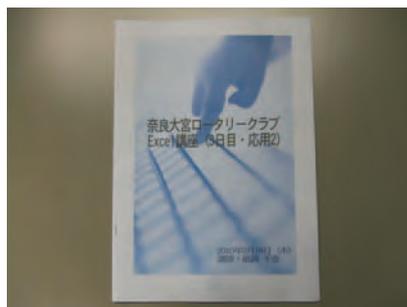
いよいよ、桜の開花ということで、先程奈良公園を歩いてきました。ボチボチと咲いております。これから約半月、我々の目を愉ませてくれる、お酒も一段と美味しくなる季節じゃないかと非常に嬉しく思っております。最近、桜の開花宣言と言いますか、民間の予報機関が色々な事をやっております。それを色々聞いておりましたら、最近桜の開花が年々早くなってきているということで、大体10年間で3日位早まっているようです。1980年から2010年迄の30年間では、大体10日間位早くなってきているという計算になるようです。では、このままの状態ですと行けば100年後にはどうなるのか。2月の中旬位に桜が咲くのか、満開になるのか、という話になりました。色々な議論をされていて、「たぶん、桜は咲かないだろう」ということになりました。何故かという、桜の開花には寒暖の差、温度差が必要なんですね。このままの調子でどんどん温暖化が進んで行くと、温度が平均で5~7度程度上がるとされています。そうするとあまり寒暖の差がなくなる。そうすると桜は咲かないだろう、という予測を言われていました。そういうことを考えると、秋の紅葉も寒暖の差が必要です。そうすると秋の紅葉もなくなってしまうのではないかと思います。そういうことを考えると、現在非常にやかましく言われている「温暖化防止、CO2削減」の為に協力していくべきだな、とちょっと考えました。

会報・IT委員会 パソコン教室3日目 (2010年3月18日) Excel応用②

場 所：奈良市勤労者福祉センター
 講 師：砥綿 千恵

サポートスタッフ：坂井会員・NTT西日本
 参加者：平野会員夫妻、飯田会員、増井会員
 高辻会員、古川事務局員、谷川委員長

●Excelを利用して、健康管理表を完成させました。



次週の例会

日興コーディアル証券奈良支店
 コンサルタント課長兼フィナンシャルアドバイザー課長 岩淵 敏成 様
 テーマ「2010年マーケットの見通し」

▼次項へつづく

発行日 / 2010年3月30日
 2009-2010 / 35

Vol.31

No. 1500

HP : <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail : info@naraomiya-rc.jp



育てよう、人。

2009~10年度
 第2650地区のテーマ
 『育てよう人』

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第35回 3月30日
 通算1500回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「四つのテスト」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話 朝日新聞社
奈良総局長 馬場 秀司 様
「奈良のPR戦略について」
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第34回 3月23日
 通算1499回

R.C.は出席から 1498回
 ● 会員数 69名
 ● 出席免除者数 21名
 ● 出席者数 51名
 ● 補填者数 -
 ● 出席率 82.2%

1497回の修正

● 会員数 69名
 ● 出席免除者数 21名
 ● 出席者数 49名
 ● 補填者数 8名
 ● 出席率 96.6%

委員会報告

高野社会奉仕委員長

既に回覧を回しておりますが、平城遷都1300年祭の協力ということで、せんとかんの幟を目立つ所にはり出して頂きたいという依頼が1300年協会よりきております。当クラブで350本割り当てを頂いております（一人につき5本）。もし、数が足りなくなれば私の方で調整します。余っても困りますので、是非多数お申し込み頂けたら、と思います。宜しくお願い致します。

武中親睦副委員長

4月11日の家族親睦例会の、集合場所・集合時間のお知らせをしたいと思います。集合時間が14時15分、集合場所が近鉄奈良駅・春日ホテル前となっております。情冊子の方に詳しい案内を挿してあります。当日の緊急連絡先も記入されてありますので、宜しくお願い致します。

幹事報告

先程高野委員長よりお話のありました幟の件で補足致します。幟本体と竿とペアでございます。ないのは下の重り（台）だけです。

それともう一点。4月13日、東京恵比寿ロータリークラブ訪問について、現時点で集計しております参加者のお名前を読ませて頂きます。有井さん、潮田さん、大塩さん、北河原さん、小西さん、佐川さん、高野さん、谷川さん、中條さん、富川さん、中村さん、増井さん、山本さん。以上ですが、私も行くぞ、という方がいらっしゃいましたら、本日例会終了後私の方までお申し出下さいませ。それと、新幹線のチケットですが、皆様にお聞きすると自分で買うという方が多数でしたので、各自ご用意して頂くということでお願い致します。新幹線の時間については、来週の例会時に2本位の時間をご案内させていただきますので宜しくお願い致します。

「デジタル放送のこれから」

奈良テレビ放送株式会社 代表取締役社長 辻本 俊秀 氏



プログラム委員長の土谷先生が、私共の番組審議会の委員をして頂いておりまして、その関係でこういう機会を設けて頂いたことに感謝申し上げます。

お配りしておりますレジュメの後ろに、12月の経営者協会の「鹿鳴通信」に関東圏で書いたものとほぼ中身は変わりませんので、少しその辺りを踏まえながら、お話をさせて頂きたいと思います。

はじめに、というところに「アナログ放送停波まで、あと489日」と書いてございます。2011年の7月24日という中途半端な日にアナログ放送がなくなってしまうと、いまデジタルで流している電波だけになります。テレビで言いますとSMAの草薨剛さんが宣伝しておりますし、奈良の鹿とは似つかない「地デジカ」くんという鹿が出て宣伝に励んでおりますが、要はデジタル放送ばかりにしてしまわないと、アナログ放送は後1年半も経たない内にテレビが観られなくなってしまうという状況で、その為のキャンペーンです。

なぜいまデジタル放送なのか。実を言いますと私の県庁での奉職時代に、情報システム課課長としてデジタルに関連した部署にいました。丁度2000年問題（Y2K）で、20世紀から21世紀に渡るについてあちこちの機械が誤作動を起こすかもしれない、ということで、県内のライフラインの対応をやっていました関係で、テレビ、

水道、ガス、電鉄の間を走り回っておりました。その当時は「IT (Information Technology) いう話がありましたが、いまは「ICT (Information & Communication Technology) 革命」で、情報と通信がセットになっている議論になっております。その中で、アナログでやっている電波が不足している状況で、一番のネックは2000年前後に爆発的に増えた携帯電話の、電波の枠をあげなければならなかったということです。長波・中波・短波と色々な電波がありますが、例えば消防はここ、自衛隊はここ、ラジオはここ、テレビはここ、と旧郵政省（現在の総務省）がこれを決めており、それまで大きな顔をして電波枠をとっていたのがテレビなんです。それが、デジタルになると3分の1程で電波帯を使えることになり、残りの3分の2があくので通信の方に譲渡しましょう、ということで、これがデジタル放送のある種裏面の発想です。そんな中でデジタル放送が始まった訳です。例えば奈良テレビでも、社屋や機械を新しくせねばならず、20数億円のコストがかかっております。

実は、ラジオもデジタルラジオになるんですが、（最後に表をお渡ししましたが）デジタルラジオの方はなかなか前に進みません。デジタルラジオとは何なのか。ラジオでは通常音声ですが、画像も観られるラジオというのがデジタルラジオで、テレビとラジオでどこが違うのか、ということになってしまいますが、そういう方向性です。

お手元の資料をご覧頂きましたら良いかと思いますが、この表は電通がこの一月に広告費について出したものです。上の4つがマスコミ4媒体（新聞・雑誌・ラジオ・テレビ）で、7兆円から6兆円弱に減っておりますが、衛星メディア、インターネット関係の分野ではそれなりに増えております。所謂コミュニケーション・メディア（看板・折込チラシ・DM等）も減っております。そんな中でラジオは、なかなか前を向いて進み難い状況になっているんだと思います。

「放送と通信の融合」。デジタルになるとどう変わるのか。インターネットもできる携帯電話、ワンセグ、等テレビと通信メディアの中でぐちゃぐちゃになってしまっている。例えば携帯電話でテレビも観られる、インターネットにも接続できる。そういう環境の中でデジタル放送が始まったという実態です。

奈良テレビは松尾山の上にNHK奈良と一緒にアンテナを立てていましたが、(NHKはそのままですが、)鉄塔(アンテナ)を生駒山の中腹に移設致しました。2~12CHまで、デジタル放送を生駒山から出すのに、奈良テレビだけ松尾山から出すとアンテナの方向が変わりますので観てもらえない、という状況があり、移設をして電波を出している状況です。

既にお家にもデジタルテレビが何台もあるかと思いますが、アナログだとゴーストが出たり、流れ(スジ)が入ったり、訳のわからないことになるのですが、デジタルテレビは綺麗に映ります。VHF波(アナログテレビ)はちょっと回り込むので映らないような所でも映る事がありますが、UHF波(デジタルテレビ)は、波が細かく、当たったらはね返ってなかなか届かないので、映る所では綺麗に映るが映らない所ではまったく映らない、というのが難事です。実は、(そういった事に対応すべく)国が「デジタルサポートセンター」というのを作っており、うちからも社員が一人出向しております。

デジタル放送の良い面ではデジタルハイビジョン(HD)があり、出演している女優さんの皺の一本一本まで数えられる位精密な画像が再現できます。アナログだとそういう訳にはいきません。

反面、最近のテレビ(特にNHK)では、「間もなく7時です。(ピッピッピッポーン)」という時報がなくなったな、と思われている方もあるかと思いますが、あれがデジタルの弱点です。デジタル放送というのは、三倍のパワーを使っていたものを三分の一に縮めた為、技術的には、(デジタルでは)画像を受け取る時一旦圧縮して、それを解凍することにより視聴可能な画像に戻す、という作業をしています。コンピューターでは本来それを瞬時に行うことが出来る筈ですが、これが3~4秒は軽く遅れてしまう。アナログ放送で「7時です」というと、たぶん0.000何秒しか本当の時刻と差がないのですが、デジタルではこれが3~4秒、中継局を挟むとこれが5秒位遅れてしまう。ですからデジタル放送で「8:00」と表示されればそれは、5秒位の遅れがあると考えて頂いた方が良いでしょう。それがデジタルの問題点ではあります。

ただ、中身のコンテンツ、画の綺麗さ、音の再現力、等はアナログより数段良いとされていますので、奈良テレビでも2003年より工事を開始し、2006年よりデジタルの電波を出した、という状況です。

画角では、普通のブラウン管のテレビは4対3(横×縦)でしたが、デジタルでは16対9で、横に長くなっております。それは広がりのある映像が観られるというだけなのか、というそうではなく、デジタルにはもう一つ、データ放送という機能があり、リモコンのDボタンを押すと、ドラマの前回分を見逃したらその内容を教えてくれたり、出演している主演女優のプロフィールや、美味しいものを食べに行くような番組ではそのお店の情報まで教えてくれるデータ放送機能がありますし、奈良テレビではそれをさらに進化させ、全国初だろうと思いますが、県内のある小売業種さんの電子チラシを放り込んだりしております。そのような活用の仕方がありますし、一番良いのは、(アナログ放送では)インターネットを立ち上げなければすぐにわからない天気予報が、奈良テレビのデジタル放送の下部には奈良の天気(協力:ウェザーニューズ社)がのっております。その他奈良テレビのデジタル放送のサイト内には、救命救急情報等もありますので、一度試して頂けたら「ああこんな便利な機能があるのか」と思っていただけかと思えます。

更にもう一つは、ワンセグ放送です。カーナビ、携帯電話にテレビの機能がついているものです。ご家庭のテレビは、(音声・色合い等色々あるが)13セグメントの中の12セグメントを使って電波を出しています。(画面が小さいので圧縮機能が小さくて済むので)残り1セグメントあいている分を、携帯等で使用されるワンセグ放送に使っております。他局ではワンセグ放送は、どちらかと現在あるもの(テレビ番組)をそのまま流しております。これも全国初ですが、奈良テレビの場合は、二つに分割し、チャンネル1は奈良テレビ独自で色々な情報を発信しており、チャンネル2は奈良テレビでやっているテレビ番組を流しております。一昨年の秋に、法改正により、二分割し異なる番組を流してもよくなりましたが、(他局は)どこも挙手しなかったけれど、奈良テレビだけはそれを着々と進め、去年の12月から奈良の情報を流しております。私自身は、携帯電話ではせいぜい電話(通話)とメール、それにごくたまにインターネットを見る程度の活用ですが、若い世代の人たちはなんでもかんでも携帯電話でやってしまう。そういう訳で主に若い世代向けに、ブレイク前のミュージシャンを紹介する等色々な番組を出しております。(ならまちウォークの中継等)県内イベントの紹介、(県内の)競輪中継等もしており、これまでのテレビとは少し違った形の活用ができるツールの準備をしたところ です。

もう一つは、EPG(Electronic Program Guide)で、これは新聞等の番組欄がテレビの中に入っていて、リモコン操作により画面上で情報を見ながら番組選択、決定できるものです。そういうことで、テレビは随分と様変わりしました。画像が移るだけのものから、そのように進化したということです。

現在、隅っこが映らず真ん中だけのコマーシャルが多いのですが、これはアナログ用に作ったコマーシャルをデジタル用に使用しているためで、4対3の画角のものを横に伸ばすのに、そのまま伸ばすと太って映るということでサイドカットをしている為ですが、奈良テレビも4月1日よりレターボックス(デジタルの基準)にし、4対3(アナログ基準)では上が隙間があく、アナログの方に皺寄せがいく、という状況に変えていきたいな、と思っております。これは、液晶・プラズマテレビの奈良県の普及率(去年12月78%以上あり、全国一位。京都は60%程度)に対応したもので、テレビもデジタルの時代になり、それに合う形の画像にしなければいけない、ということで進めています。

デジタル化への対応として、新社屋建設及びデジタル機材への変更も進んでおりますが、問題は広告収入で、2年前7兆円あったものが6兆円を切る所まで落ち込んでいます。そんな中でもデジタル化はやり遂げなければならない。実際は、奈良の場合中継局は殆どたてなくても良いのです。吉野山間は、近鉄ケーブル・地元市町村・奈良テレビが出資した「こまどりケーブルテレビ」という有線テレビのテレビ網があり、それで放送が流れますので、中継局に経費はかからないのです。このような状況を踏まえて、ワンセグ放送、データ放送も含め、色々な仕掛けをしていく必要があると思えます。インターネットの広告収入は、10年前600億円でした。それが、6,000億増えてまいりました。既にラジオは遙か下、新聞に迫る勢いです。そのような状況下でテレビもうかうかしてはいられません。(テレビ会社は)全国に127社ありますが、(全体の広告収入が)2兆円あったものが1兆7,500億まで落ちました。2,500億円ダウンしております。来年は少し上向くのかなとも思いますが、そういう苦しい状況の中でも番組を作って放送していかなければならない。その作り方も、手間がかかります。ワンセグ放送をどうするか、データ放送はどのように入れていくか。そのような観点でテレビを見て頂くと、非常におもしろいのではないのでしょうか。

ワンセグ放送については、携帯電話の画面と言うのはせいぜい縦3cm×横4cm程のもので、普通の（ワンセグ以外の）画像に出すテロップ、スーパーを普通に（通常のテレビと同じように）出すと、書いてある事が読めません。ですからデジタル放送用に作ったものでも、ワンセグ放送では大きくしないと何て書いてあるのかわからない。色々な試行錯誤の中で、そういうことをしなければならぬということが見えて来ました。

今後は、私共だけで番組を作って流していくという事が本当に良いのか、という問題点があります。地域のメディアなので、どのような方向性にするのが良いのかまだ定まっていません。電子チラシ、ワンセグの2チャンネル化などの新しいチャレンジもしております。結局は、どんな情報を出せるか、というのが大きな課題であろうと思っております。私共としては、奈良テレビだけが作るのではなく、視聴者の皆さん、県民の皆さんが作っておられる映像や、もしくは作りたいという意識を集めてきて番組に使えないだろうか、視聴者目線に立った映像をどう作っていくのかも考えて行きたい、ということで、「奈良映像バンク」（一般社団法人）を1月に立ち上げました。作業としては、県内の企業、社寺仏閣、公共機関など色々な所に画像・映像がたくさんあります。このようなデータを整理し、使用可能なものを選出し、使用する。目線を変え、観る側にかえて、「こんな映像があったらいいのにな」というものを奈良テレビが放送する。ただ、肖像権・著作権などの問題が大きな課題になります。それをどういう形でクリアするのか、を含めて映像バンクのほうで色々勉強させていきたいと思っております。

映像としての情報を発信する、それを受け取ってまた再発信する、という形のテレビ局を目指しておりますし、それを踏まえて報道や情報発信以外の所でも貢献できる形にできれば良いな、と考えております。

テレビの楽しみ方は本当に変わってまいりました。テレビショッピングの放送が多過ぎるじゃないか、と思われる方もいるかも知れませんが、需要あってのことで、そういうものをどれだけ広げていくか、また、地域に向かって奈良テレビらしい地域に根差した情報を発信していきたい、ということのせめぎ合いの中で、経営的な見地も含めて考えてまいりたいと思っております。引き続き、ご支援を頂ければありがたいと思っております。

ニコニコ箱 本日計 31,000円 累計 1,928,000円

- 楠下 重郎 君** お水取りも無事終了春のおとずれがまいりました。私も確定申告期で2月の22日から事務所に隠っていましたが、無事終了やと皆様とお付き合い出来る事を喜んで。
- 多田 廣 君** 結婚記念日のお祝いありがとうございました。
- 大塩 栄作 君** 先日台湾の東呉大学に表千家の仲間とお茶会の手伝いに行つて参りました。台湾は28度で夏でした。国際交流をちゃんとしてきました。ニコニコ！
- 山本 尚永 君** 先週はセキスイハイムの改善発表会で賞を頂いてニコニコ。
- 野上 利樹 君** 先日の東大寺植樹会でお約束しましたベンチ10脚を、社員で手づくりして今日納めさせて頂きました。ニコニコに協力！
- 有井 邦夫 君** 箸尾さん先日はお世話になりました。富川会長に感謝。
- 高野 治 君** 日曜日の奈良新聞に、見開き2ページで、真ん中の娘の研究論文が掲載されました。父親をさしおいて。本日例会終了後、囲碁の会を開催しますので多数ご参加下さい。
- 北河原公敬 君** 山登り同好会の皆様、過日はありがとうございました。お心遣いに心より感謝申し上げます。
- 森下 泰行 君** ニコニコに協力。

「中国旅行に行ってきました」倉田 智史

2月に友達と中国の大連市と葫蘆島市、錦州市に行ってきました。2年前にも一度行って来たのですが、大連市はさらに発展していました。驚いたのは2年前には全くなかった欽州市と北京を結ぶ新幹線が建設中で工事期間2年足らずで完成間近であるということでした。これらの町は日本ではあまり知られていませんが沿岸部の交易に便利な場所に立地しており、油田などもあって今後の発展が期待されているところだそうです。葫蘆島市、錦州市は以前は田舎町でしたが、現在、経済特区の指定を受け開発が盛んに行われています。

大連近郊の旅順にも行きました。203高地の舞台となったところとは聞いていたのですが当時の写真なども展示されており、これまでと印象が変わりました。

ただ、2月であったため大変寒く、川が凍って地元の子供達がスケートをして対岸まで渡っていたのがとても印象的でした。

